

# 北毛発

## 真田の足跡

第2部

▶ 9

四万温泉(中之条町)には、当時の領主真田信之の武運長久を祈り、1598年に建立されたという日向見薬師堂がある。

氏との関わりが深くな  
っていく。

四万の温泉宿は戦国  
も徐々に広がって

逃れる途中、甚五郎は  
四万温泉の山口地区に  
とどまり追っ手を防ぐ  
ことになったという。

四万温泉協会の森博

昭事務局長(61)は「そ  
の後、宿は他の地区に

### 四万温泉

勢力争いに巻き込まれ  
ていった。しかし90年、  
北条氏滅亡に伴い真田



# 戦国の世 宿広がる

草津温泉とともに、  
長い歴史で知られる四  
万温泉。豊臣秀吉の天

時代、岩櫃城主の斎藤  
氏に仕えていた田村甚  
五郎が開いたのが始ま  
りとされる。63年、真

戦国末期の上州は、  
各地の地侍が周囲の武

信之が沼田2万7千石  
の城主になると、奥北  
部の広い地域は真田氏  
の勢力下となった。四

下統一(90年)に伴い、  
北毛地区における真田  
氏の権力基盤が安定、  
江戸初期にかけて真田

田氏をはじめとする武  
田方に敗れた斎藤氏  
が、岩櫃城から越後に

強大な戦国大名による  
日向見薬師堂の再建は

この時期に当たる。

戦国の世が終わり、  
激しい争奪戦が繰り広  
げられた北毛にも平和  
が訪れたと思われた  
が、秀吉の死後、再び  
に飲み込まれていく。



真田信繁(幸村)の兄、信之の武運長久を祈り建立された日向見薬師堂